

地域医療連携室だより vol.2

発行：蒲郡市民病院 地域医療連携室

TEL 0533-66-2307

地域医療連携室の仕事

～医療・福祉相談業務～

平成13年より医療・こまりと相談室として開設され、今年7月からは、地域医療連携室の一部として運営しております。体制としましては、社会福祉士2名で対応しています。

相談室に寄せられる内容は、療養中の困りごと、退院後の生活や介護についての不安、医療費の支払いや各種福祉制度の利用方法など様々です。特に近年においては退院後の転院先や介護サービス事業者との調整など地域において連携を必要とする比重が高くなってまいりました。

退院後に在宅療養となる場合にはかかりつけ医の先生方にその後のフォローをお願いすることになります。連携を密にし、患者さん、ご家族が安心して住み慣れた地域で生活が送れるようお手伝いしていきたいと考えております

高額医療機器の共同利用について

地域医療連携室にてCT・MRI・骨密度測定・一般撮影などの検査業務を受け付けております。各診療科の分野において、今後の治療方針決定などのため、CT・MRI・骨密度測定にて病変の有無や性状を評価したい患者さんがございましたら、市民病院の放射線技術科にご紹介ください。高額医療機器の共同利用の点から当院の地域医療連携室をご利用ください。

紹介例

- 1 脳梗塞や動脈瘤の有無（頭部MRI）
- 2 脳出血の有無（頭部CT）
- 3 肝腫瘍や肝硬変の有無（腹部CT）
- 4 肺がんや肺炎の精密検査（胸部CT）
- 5 子宮や卵巣の病変の有無（骨盤MRI）
- 6 インプラント治療用CT（上顎・下顎CT）
- 7 骨粗鬆症の診断（骨密度測定装置）

当院では地域の皆様に、より精度の高い検査を受けていただけるよう最新鋭の高度医療機器であるCT・MRI・骨密度測定装置の検査利用を近隣医院・クリニックの先生方より積極的に受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

なお、造影検査や読影依頼などは、地域医療連携室経由で各診療科担当医師までご依頼ください。

放射線科 技師長 平野泰造

—連携室からのお願い—

患者さんのご紹介や転院に関して、当院の外来診療科や病棟へ直接お電話をいただくことがあります。患者さんの病状など療養上に関するものを除いて、事務上の手続きに関しては地域医療連携室が原則的に受けしますので、お気軽にお電話、ファックスください。

TEL 0533-66-2307 FAX 0533-2308

裏面もご覧ください

地域医療連携室だより vol.2

発行：蒲郡市民病院 地域医療連携室

TEL 0533-66-2307

蒲郡市民病院脳神経外科

平成24年6月から鳥飼武司医師が掛川市立総合病院の転勤し、新たに大沢医師が名古屋市立大学病院から赴任し、4名で診療を行っています。

脳神経外科は他の診療科に比べ早くから専門医制度が実施されており、また他学会と同様脳神経外科学会にも subspecialty 制度が進んでいます。現在、脳神経外科専門医の下に、脳神経血管内治療専門医、脳卒中専門医、神経内視鏡技術認定医などの制度があります。必ずしも専門医の資格が無くとも、診療が制限される事はありませんが、医療水準の維持、地域社会へのアピールから、全ての専門資格を取得することを当院の脳神経外科の目的の一つにしています。

現在4名全員が脳神経外科専門医、2名が脳神経血管内治療（2名が今年度取得予定）、2名が脳卒中専門医、1名が神経内視鏡技術認定（1名が今年度取得予定）となっていて、この専門医取得者の比率は近隣病院に比べてもきわめて高くなっています。中でも最も脳神経外科診療に欠かせない分野である intervention を行う神経血管内専門は豊橋市民病院、岡崎市民病院、豊川市民病院にもそれぞれ1名ずつ在籍するに過ぎません。従って、動脈瘤塞栓術、血栓溶解療法などの急性期脳卒中治療の件数は他病院より多くなっていて、医療圏の規模を考えると intervention の activity の高さが当科の特徴の一つとなっています。またあまり知られていないようですが当院の定位的放射線治療は愛知県内では小牧市民病院に継ぎ2番目に古くから開始していて、現在までに約500症例治療しています。転移性脳腫瘍、脳動静脈奇形、良性脳腫瘍には良い適応となっています。最近でも他市町村の病院からの患者が紹介されてきます。

近年脳神経外科診療の領域は、放射線外科、intervention 等を従来の手術療法にくみあわせた、multi-modality therapy が必須となってきました。例えば脳神経外科領域の代表的な疾患である脳腫瘍、脳動静脈奇形は手術、定位的放射線治療、塞栓術を組み合わせた治療が標準になっていますが、当院でも複数の治療法を組み合わせ治療していて、治癒率は全国平均を遙かに上回っています。財政的に厳しい状況が続いていますが、今後も全ての脳神経外科の治療を当院で完結するよう努力しています。

学会活動、論文作成も我々医師には重要な仕事のひとつです。病院年報にも掲載されていますが、業績を重ねることで自身の医療レベルを維持、向上させるために、日々努力しています。

最後に蒲郡市民病院脳神経外科の理念は脳神経外科医全員が脳神経外科領域の全ての疾患を、全ての治療方法で行いうるという事であり、そのために日々、診療、学会活動に邁進しています。

文責 杉野文彦

裏面もご覧ください